

農村伝道神学校学報

学校法人鶴川学院
農村伝道神学校
発行人：ロバート・ウイットマー

安全保障関連法廃止！
辺野古新基地建設反対！

「覚えるということは平和のために働くこと」

校長 ロバート・ウイットマー

一月一日は第一次世界大戦休戦記念日です。終戦と戦争で戦った兵士たちの功績を讃え、戦争で亡くなった兵士を追悼する日で、カナダでは Remembrance Day と呼ばれています。この日にカナダ合同教会も含めて多くの教会が一月一日前の日曜日に特別な礼拝をします。それは第一次世界大戦だけではなく、第二次世界大戦、朝鮮戦争、またアフガニスタン紛争で戦った兵士たちを覚える礼拝です。二〇一五年、私たちは本国活動のためにカナダにいて、その日に自分の母教会で日本での働きについて分か

ち合う機会が与えられました。その礼拝の中でカナダの Remembrance Day の式をしてほしいと言われました。私はもしそれをするなら日本にとって第二次世界大戦は何だったかを言わせてもらえないと出来ないと言いました。母教会の牧師と役員がびっくりして、それについて相談することになりました。相談してから電話で連絡してくれて「他の人に頼みました。」と「今まで国によって戦争の経験が違うと考えたことはなかった。」と言われました。他の人に頼んでくれたことは嬉しかったですが、それでも気持ちには複

雑でした。

カナダにとつての戦争は日本とぜんぜん違います。カナダは戦場にならなかったし、正しい目的のために戦っていると思っていたし、そして勝ちました。日本は負けただけではなく、沖縄が戦場となり、多くの場所は空爆を経験して、広島と長崎は原爆が落とされ、何百万人が殺され、日本の多くの兵士は当時の教育によって良い事のために戦争で戦っていると思っていたのに、日本が悪者にされました。第二次世界大戦でカナダの兵士が何万人も死にましたが、その人たちは英雄と呼ばれていました。一月にその人たちの覚えるために、カナダ人がケシの花を服につけます。ヨーロッパで兵士たちが葬られている所にケシの花がたくさん咲いているからです。そして、例えばオンタリオ州の高速道路は「英雄の国道」(Highway of Heroes)と呼ばれていて、その標識にもケシの花が描かれています。教会の中には会員で戦死した人々の名前のプラ



オンタリオ州の高速道路

ークがありその周りにもケシの花をたくさん飾っています。私はどうしても戦死した兵士のことを覚えるだけではなく、知らないうちに戦争そのものを美化してしまう可能性があると思います。

農業しているカナダの友だちにその話をする。彼も私と同じ気持ちでした。彼はアメリカで働いたこともありまして、そして CPT (クリスチャン・ピースメーカー・チーム) でイラク戦争の最中にイラクに行つて平和活動をしていました。CPT は北アメリカの平和主義の教会によって始めましたが、現在教派を超えて世界中のいろんな所で平和活動をしています。友だちはカナダ合同教会の会員ですが、彼も一月一日の前の日曜日の礼拝に行きたくないです。彼と一緒にメノナイト教会の集会に出席することが出来ました。メノナイト教会ではケシの花をつけていません。色と形がそれに

似ているバッジをつけています。そして、そのバッジに「To Remember is to Work for Peace」(覚えるということは平和のために働くことです) が書いてあります。これをもらつて私は癒されました。戦死した人たちの覚えるということはもちろん悪いことではない、でもそれは戦争をよしとするためではなく、戦争の恐ろしさを感じ、平和のために働くことです。戦争の経験は国によって違いますが、戦争そのものをなくすために、本当の平和を築くように私たちは招かれています。そのことを覚えたのです。そのために戦争は自分の国にとつてなんだったのかだけではなく、世界の多くの国と人々にとつてなんだったのかを分かち合い、学び合いながら平和に向かって歩みたいのです。



ケシの花とメノナイト教会のバッジ

玉山神学院との交流 交流実習感想

二〇一九年七月



玉山神学院
李玉梅（アボン）

この実り多き、国外実習の機会を与えてくださった主に感謝します。学生が一ヶ月、日本で学べるようにアレンジした玉山神学院と農村伝道神学校に感謝します。多くの地方の慈善機構、観光地、部落解放、農業、防災センター、医療機関、教会等を訪れました。わたしたちを導く牧者を神様が祝福してくださいように。皆さんありがとうございます。

日本人は控えめで、謙虚で、つましく生活していました。飲食の面では健康に気づかい、よく生野菜を食べ、シンプルな食事をしていました。わたしは日本の食事を一日三回、ひとつき食べて、体が次第に軽くなり、日本に行く前に肩凝りが三ヶ月も続いていて、重いものを持ったり、腕を動かすことができなかったのです。

重いものを持ったり、腕を動かすと、痛くてとても辛かったのです。しかし、ひとつき日本の食事を食べているうちに肩がだんだん良くなってきました。今回、日本へ行って、どのように自らを愛すべきか学ぶことができました。食事に気を付けることで、健康を維持できるのです。

聖職者の服装も簡単質素でした。北海道の牧者たちは、主日礼拝の説教の際にも、背広にネクタイといった正式な服装を着用するのではなく、簡単に清潔で動きやすい服で台に立って説教をしていました。わたしにとって見慣れない光景でしたが、ディヴァン牧師に「これはこの習慣だ」と言われて気づきました。

理解することができました。寿地区生活館の管理人の解説を聞いて、仕事がないと生きてゆくのが難しく、そのため、家庭を作って子女を育てることをせず、ひとり身の生活を送ってきたこと、年老的な現在ではなおさらそうであることを知りました。それで彼は行政に対し補助を申請し、これらのリタイヤした労働者や、ホームレスの手助けをし、また障がい者に作業を用意して、生きるための収入を少し増やしています。

2019 年度台湾交換交流会計報告 (2019 年 4 月～9 月)

収 入		
2019/5 ～ 2019/7	献 金 (34 件)	462,000
前 年 度 繰 越 金		47,399
収 入 の 部 合 計		509,399
支 出		
2019/4 ～ 2019/9	研修費 (交通費・食費を含む)	307,374
2019/4 ～ 2019/9	通訳等の謝礼	177,315
合 計		484,689
次 年 度 繰 越 金		24,710
支 出 の 部 合 計		509,399

★ 2018 年度会計：前年度繰越金 ¥47,399
次年度繰越金 ¥24,710

牧者はこのような方法で弱い立場の教会の会員のために行動し、これにより自身が受け持つ教会も守られました。そういうわけで、牧者は子どもの信仰をとて重視していました。日曜学校がある教会および日曜学校が行われない教会

において、牧者が説教の前に、聖書中の短い物語を子どもたちに話して聞かせ、祈りをした。子どもたちを祝福していました。子どもたちは祝福を受けることが大好きなので、牧

農伝デー報告

二年 松本吉氏光

今年は当日の雨が心配されましたが、蓋を開けてみると朝には雨が上がり、たくさんの方々が農伝に足を運んでくださいました。



農伝デーでは年毎に学生会でテーマを決め、講演してくださる方を招いています。今年は竜ヶ崎教会から飯塚拓也牧師に来ていただき、「教会ってどんな所」をテーマに子どもと大人が共に礼拝を作ってください。司会進行、奏楽、聖書朗読、主の祈りなど礼拝全

者が彼らの頭に手を置くと、魂から喜びがあふれ、主イエスの胸に抱かれたかのようにです。このような働きは良いものです。

体の役割りは子ども大人の分け隔てはなく希望者を募り讃美歌も打楽器も入れたり、「つまみな」から選曲したり色々です。私たちの礼拝に対する意識を振り返って見る良い機会であり、参考になった方々も多かったのではないかと思います。



物品販売のコーナーでは、アジア学院、北海道道北センター、農伝後援会、教会関係者の方々から生産加工食品・工芸品等が並び実に豊かであり、商品を通してそれぞれの働きの場に取り組み、農伝と

の関わりを伺い知ることが出来ます。飲食コーナーカフェでは、学生、教師、ボランティアの方が担当し、こちらでも盛況感謝でありました。

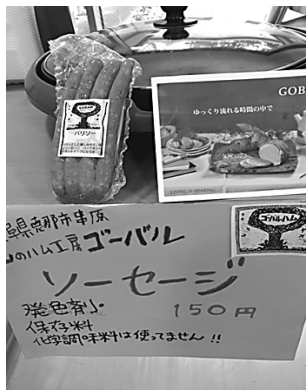


講演、買物、食事と農伝デーを満喫したところで、今年度学校案内希望者を募りまして、校内見学ツアーを致しましたのでその様子を少し紹介したいと思います。十五人ほどの方が参加してくださいました。

まず、ストーン記念館前の道を通り、ここには、楓の木の太木、またグリーンチャペル（野外礼拝スペース）がありまして、そこを通り過ぎ、農場の方へ向かい、下つていきますと、畑では播かれたばかりの野菜の芽が顔を出しています。

シオン幼稚園や関係保育園さんたちが作付している畑です。収穫期を迎えたサツマイモが、子ども達が来るのを待ちわびています。農場は、その他、教会、関係学校、一般

の方々にも貸し出していますので、ここがみなさんの出会いの場となつて、種や苗、収穫物の交換が行われ美味しい野菜を頂くことが出来ます。また、鳥や虫の声も聴こえてきます。開発の進む町田市では、農伝周辺の環境は、そこで暮らす生き物にとっても、私たちにとつても大切な場であります。



さて、この畑を通りすぎますと、次は、ロマンチック街道にさしかかります。ここからカップルが成立し、めでたく一緒になられた人たちもいるとか。あの時を再びという方、ぜひ私たちとも思われるみなさん、どうぞいつでもお越しくださいませ。さて、気持ちもやわらぎ、会話も弾みましたところで、まもなく旧栗畑が見えてきます。ここは現在、計画、整備を学生、教師、ボランティアの方々によってすすめられています。土に仕えること、教育の場としての再生を目指して取り組んでいます。

る最中であります。この栗畑のそばには小さな茶畑もあつて、新芽の季節には美味しい新茶を楽しむこともできます。見学ツアーの最後は、研修棟坐禅にて、坐禅体験も行いました。みなさん坐つてみての感想はいかがでしたでしょうか。農伝では授業科目に靈性を養う場として坐禅を取り入れ、最近では関心を持ち、聴講で参加される方が増えて来ています。詳しくは農伝のHPにも映像、案内が紹介されていますので、関心のある方は、ご覧になってください。



この様にして、農伝デーでは毎年みなさんの協力支援のもとで良き交流の時となっています。実際に足を運ぶことでもあるかと思ひます。また入学、聴講を希望している方も学生に授業の様子を尋ねてみるのも良いかもしれせん。みなさんぜひ農伝の魅力を訪ねてみてはいかがでしょう。お待ちしております。

農伝「接心」への招き

来る二月一六日(月)～二一日(土)まで、第五回「接心」が農村伝道神学校の黙想室(写真)で行われます。

農伝は二〇一三年より、佐藤研講師(立教大学名誉教授・三寶禅師家)をお迎えして、「禅キリスト教入門」を開講し、毎週金曜日午前八時半より一〇時までを「黙想の時間」として一回二五分の坐禅を三回行っております。

そして、二〇一五年からは毎年一二月に約一週間の接心を実践して参りました。

「接心」とは「摂心」とも書きますが、およそ「心を集める」というほどの意味で、ある期間、全くの沈黙の中で、一人ではなく一緒に坐することによって坐禅に深く集中するものです。

禅は主として禅宗によって担われて伝えられてきましたので、禅といえば仏教であると考えられがちです。しかし、本来禅とは一宗教に限定されるものではなく、キリスト者が禅に取り組むことは、その信仰を、そして祈りを、より一層深めることはあっても、キリスト教信仰を阻害するものではありません。禅では自己の本質を追究することを「己事究明」と言い

ます。わたしたち一人一人の本当の自己とはいかなるものであのかを深く静まってみようとする取り組みです。

日常の喧騒からしばし撤退(リトリート)して、静寂の中で深く静まり、自分自身を静慮し、本当の自分に会おう道をご一緒に究める「接心」にご参加ください。

ご関心のある方は、農伝のホームページをご覧ください。また、定員数や費用など、参加申し込みの詳細は事務室にお尋ねください。(担当・高柳)



黙想室

2020年度入学案内

◆受験資格

- (1) 日本基督教団に限らずプロテスタント教会に所属し、原則として受洗後1年以上(洗礼式を行わない教派については、それに準ずる)の教会生活をしている者。
- (2) 所属教会が推薦し(可能であれば)、高卒または同等以上の学力を有すると認められる者。

◆修業年限

- 神学基礎コース：2年間(2年間で修了することも可)。
- 基礎コース修了後、神学専門コースに進むことができる。
- 神学専門教職者養成コース：2年間
- 神学専門信徒宣教師養成コース：1年間または2年間

◆学費

- 入学金 60,000円(入学時のみ)
- 授業料 240,000円(年額)
- 設備費 30,000円(入学時のみ)

◆受験手続

- 次の書類を期日までに郵送または持参する。
- (1) 入学願書(本校指定の書式)
 - (2) 履歴書(本校指定の書式)
 - (3) 教会(牧師または役員会)の推薦書(可能であれば)
 - (4) 最終学校卒業証明書(または卒業見込み証明書)
 - (5) 受験料 10,000円(振り込み)

◆入学願書受付

- 第1回 2019年10月8日(火)～11月8日(金)
- 第2回 2020年1月7日(火)～2月7日(金)

◆入学試験日時

- 第1回 2019年11月19日(火) 午前9時～午後3時
- 第2回 2020年2月18日(火) 午前9時～午後3時

◆会場 本校教室

◆入学試験科目 (1) 小論文 (2) 旧約聖書・新約聖書 (3) 面接

◎入学願書一式、過去の試験問題集は、本校事務室まで請求ください(無料)。

お知らせ

◆神学校日礼拝には、下記の教会に学生を派遣した。
埼玉和光教会、水元教会、上大岡教会、鶴川北教会、小諸

教会、大泉教会、城西教会、まぶね教会。(以下は、台風が重なったため一二月以降に延期になっている教会。林間つきみ野教会、七里教会、横浜港南台教会、三鷹教会、高座渋谷教会。)

- ◆一〇月三日(木) 実習報告会
- ◆一〇月七日(月) 一日坐禅会
- ◆一〇月一九日(土) 農伝デー！オーブンキャンパス

講演会「教会ってどんなところ？―神の国がここに！―」飯塚拓也さん(竜ヶ崎教会牧師・認定こども園ぶどうの木竜ヶ崎幼稚園園長)

◆一〇月一九日(火) 今年度第一回入学試験
◆一〇月二六日(火) カナダ合同教会信徒牧師制度について公開講演会 一〇時半より

講師…ジェニファー・ジャンセン・ボール
◆一二月六日(金) 待降節礼拝 午後五時(通常授業終了)
◆一二月一〇日(火) 一一日(水) 集中講義 III(こどもと教会)大澤秀夫
◆一二月一二日(木) 一三日(金) 集中講義 III(「東方教会」濱田華練)
◆一二月一六日(月) 一七日(土) 集中講義 IV(特別講義「接心」佐藤研)
◆一二月七日(火) 一二月七日(金) 第二回入学願書受付
◆一二月三〇日(木) 農村伝道シンポジウム
◆二月五日(水) 一七日(金) 集中講義 V「解放講座A」講師…小林明
◆二月一八日(火) 今年度第二回入学試験
◆三月四日(水) 第七〇回卒業式

農村伝道神学校

〒195-0063 東京都町田市野津田町2024

Tel 042-735-5775 Fax 042-735-5711

Eメール: noden@pony.ocn.ne.jp

ホームページ: https://noden.ac.jp/

振替番号

農村伝道神学校 00160-6-18485

農村伝道神学校後援会 00120-6-24418